



福岡県SDGs取組事例集

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



令和3年6月更新

目次

1. SDGsと企業の役割について	1
2. 事例集作成の趣旨	1
3. SDGsの取組み	
◇NPOと企業が協働したがん治療中の患者をサポートできる美容師の養成	2
◇子どもや女性従業員の見守り活動	3
◇ITを活用した在宅勤務制度の導入	4
◇手づくり総菜販売店による高齢者見守り活動	5
◇子育てしやすい職場環境の整備	6
◇障がいのある人によるサービスの利用	8
◇自動車燃料使用量削減の取組み	9
◇リサイクル製品の製造	10
◇有機栽培による持続可能な農業の推進	11
◇6次産業化商品ごぼうかりんとう「伊都ごぼりん」の開発、販売	12
◇安心、安全な食品の提供	13
◇ニセ電話詐欺防止の活動	14

1. SDGs と企業の役割について

SDGs（持続可能な開発目標：Sustainable Development Goals）は、2015（平成27）年9月に国連において採択された2030（令和12）年を期限とする、国際社会の普遍的な目標であり、誰一人取り残さない社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むものです。

このSDGsの実現に向け、我が国をはじめとする各国は、それぞれの国においてSDGsを実現することに尽力すると同時に、自らの地域、そして世界レベルでSDGsの達成のために協力することが求められています。

我が国においては、2016（平成28）年5月に、政府により、総理大臣を本部長とするSDGs推進本部が設置、同年12月にSDGs実施指針が策定（2019（令和元）年12月改定）されました。

この指針において、事業者（ビジネス）の役割として、それぞれの企業が経営戦略の中にSDGsを据え、持続的な企業成長を図っていくことが重要であり、このために、官民が連携し、企業が本業を含めた多様な取組みを通じてSDGs達成に貢献する機運を、国内外で醸成することが重要であると記載されています。

県としても、県内企業の99.8%を占め、雇用の約8割を担う中小企業にSDGsに取り組んでいただきたいと考えております。

2. 事例集作成の趣旨

県においては、SDGsの考え方が、県が策定した総合計画や地方創生総合戦略の考え方と重なっている部分が多いため、これらを着実に実施することにより、SDGsの取組みを推進しています。

県は、総合計画や地方創生総合戦略に位置付けられた施策の効果を高めるために、一定の条件に合致した取組みを行う事業者の認証制度や、特定の分野において優れた取組みを実施する事業者に対する表彰制度を設けています。この認証制度や表彰制度に基づく事業者による取組みの中には、SDGsの17の目標（ゴール）に関連するものも多く見られます。

一方、中小企業の皆様にとっては、SDGsに取り組むことで、地球環境にやさしい商品等の新たなビジネスチャンスを生み出したり、企業のイメージアップにつながる可能性があります。そこで、これらの中から、特に、中小企業の皆様が今後SDGsの取組みを行う際に参考にしていただける優良事例について、「SDGs取組事例集」として取りまとめました。この事例集は今後更に充実させてまいります。

NPOと企業が協働したがん治療中の患者をサポートできる美容師の養成 【NPO法人ウィッグリング・ジャパン、(株)ダリア、(株)タカラ薬局】

【経緯・背景等】

がん患者の中には、抗がん剤の副作用での脱毛など外見の変化の悩みから闘病への意欲や自信を失くしてしまう人が多くいるが、そういった外見の悩みを相談できる場所は少ないのが現状。

【取組内容】

ウィッグのレンタルを通じて患者と長年接してきたNPO（NPO法人ウィッグリング・ジャパン）と、美容室のネットワークを持つ総合美容商社（株式会社ダリア）、がん治療の薬の知識を持つ薬局（株式会社タカラ薬局）の協働により、がん患者に寄り添ったサービスを提供できる美容師を養成するための講座を全国で実施している。

がんや薬に関する基礎知識やがん患者に対するコミュニケーションマナーなど、それぞれの専門家による講義のほか、実習型のワークショップも取り入れることで、実践的なスキルアップにつながる講座で、がん患者が安心して相談できる居場所づくりにつながっている。

講座修了者の在籍する美容室では、がん患者の希望に応じて、ウィッグのカットや脱毛時のサポート、自毛、再生毛のケアなどを行うほか、NPOが全国から寄附を受けたウィッグを安価に提供することで、がん患者の外見ケアのサポートに寄与している。

【企業・団体情報】

社名・団体名： NPO法人ウィッグリング・ジャパン
株式会社ダリア
株式会社タカラ薬局
住所： 福岡市中央区天神2-2-13-3F
代表者： 代表理事 上田あい子

【関係する県の制度】

ふくおか共助社会づくり表彰

NPO・ボランティアと企業、行政などによる、他の模範となる優れた協働の取組みに対する表彰制度

（人づくり・県民生活部社会活動推進課）

【関連するSDGsのゴール】



子どもや女性従業員の見守り活動【(株)関屋電設】

【経緯・背景等】

本社が小学校の通学路に面しており、また、社内における女性従業員の割合が2割を超えたことから、増加する性犯罪・子どもを狙った犯罪の抑止に繋がる何かを行いたいと考えた。

【取組内容】

緊急時に子どもが駆け込みやすいよう、こども110番の家ステッカーを貼付し、事業所内にはマニュアルを作成・掲示している。

防犯カメラを社内・屋内に設置し、事件時警察へ提出協力している。

通学中の子どもたちへの挨拶を行っている。また、定期的に地域を見回り、その結果については行政への報告を行い、地域内の暗い道や危ない箇所を発見した際には各区への防犯灯追加等の提案を行っている。

春日大野城那珂川防犯協会に所属し、営業車両に「安全パトロール中」のステッカーを貼り付けている。

学校・家庭・地域が連携し、(PTA+地域Community)の一環として、子どもの学習習慣の定着や様々な体験活動を通じて社会性を育てることを目的として行われているランドセルクラブに積極的に参加し、小学校でお仕事体験等の放課後学習を行っている。

県警OBが講師を務める防犯講習会等へ積極的に参加し、社内研修会等で従業員へ周知・指導を行っている。

女性従業員に防犯ブザーを配布している。

視界が良くなるよう社屋周りの除草、伐採を行っている。



「女性と子どもの安全みまもり企業」防犯パトロールステッカー

【企業・団体情報】

社名・団体名 : 株式会社関屋電設
住所 : 大野城市川久保3-1-10
代表者 : 代表取締役 占部 豊

【関係する県の制度】

女性と子どもの安全みまもり企業

企業による従業員やその家族が性犯罪に遭わないための教育等を促進することで、性犯罪の抑止を図り、女性や子どもが安全に安心して生活できるまちづくりを目指す。

(人づくり・県民生活部生活安全課)

【関連するSDGsのゴール】



小学校における放課後学習の実施



女性と子どもの安全みまもり企業

ITを活用した在宅勤務制度の導入【イエノコト(株)】

【経緯・背景等】

平成24年リフォーム&リノベーション企業として創業したが、創業当時、子育てや介護に追われる女性社員がほとんどであった。そのため、仕事と生活の調和を第一に考え、ITを活用した在宅勤務制度を導入した。

【取組内容】

フェイスブック、グーグルウェア及びテレビ会議システム等を積極的に活用し、在宅で社員との打合せやコミュニケーションがとれるよう工夫を凝らし、働きやすい環境を実現。総務省「平成28年度テレワーク先駆者百選」にも選ばれている。

男性従事者が多い建設業界において、女性の活躍・女性の就業継続に尽力しており、社員8名のうち女性5名、管理職はすべて女性。業界におけるロールモデル的な存在である。

「女性が家族の真ん中でいつも輝いているクラシカタ」という理念を掲げ、ただ住むハコとしての家づくりではなく、その先にある理想的で豊かな暮らしづくりを目的に、女性目線に立った「暮らし方」を提案。また、「家事セラピスト」の資格を有する社員が住まいの相談に乗り、モデルハウスにおいて片付けレッスンはじめヨガやネイルアートなど、暮らしをより便利に楽しくするイベントを開催。「暮らし何でも相談所」としてのつながりも生み出している。

【企業・団体情報】

社名・団体名 : イエノコト(株)
住所 : 太宰府市通古賀5-2-3
代表者 : 代表取締役 淀川 洋子

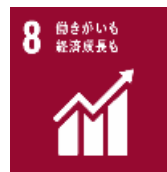
【関係する県の制度】

福岡県男女共同参画表彰

地域や職域等において男女共同参画の推進に関して著しい功績があり、他の模範と認められる取組を行っている企業や団体、県民(個人)を表彰するもの。

(人づくり・県民生活部男女共同参画推進課)

【関連するSDGsのゴール】



現場で設計図を確認する様子



子どもたちと家事に取り組む様子



イエノコト(株)スタッフの皆さん

手づくり総菜販売店による高齢者見守り活動

【(株)アクティブ・ライフ・サポート 団らん処 和菜屋】

【経緯・背景等】

UR金田団地でひとり暮らしの方が増えていることを知り、食事や周りに住んでいる人とのコミュニケーションのサポートが出来る場を提供したいという思いから、団地内に「団らん処和菜屋」を設立し様々な取組を実施している。

【取組内容】

食事の面から高齢者の健康支援をはじめとした取組をしている。
同企業は隣接する「デイサービス 和才屋」を経営しており、和菜屋の店主や従業員は、作業療法士やケアマネジャーの資格を持ち、来店する高齢者の健康状態の確認（店舗で血圧と体重を測定し記録）と助言、介護に関する相談対応などをしながら見守りをしている。
団地内やその周辺で買い物弱者となっている高齢者宅に惣菜の宅配を行い、見守りと安否確認を行っている。
店内にイートインスペースを設け、高齢者の集いの場と会話の機会を提供している。
民生委員や団地内の商店、町内会や子ども会と連携協力し、高齢者も気軽に参加できる地域イベントを開催している。

【企業・団体情報】

社名・団体名 : 株式会社アクティブ・ライフ・サポート
団らん処 和菜屋
住 所 : 北九州市小倉北区金田1-1-6-101
代 表 者 : 代表取締役 三村 和礼

【関係する県の制度】

福岡県ひとり暮らし高齢者等見守り活動に関する知事表彰

優秀な見守り活動を行っている住民団体及び事業所を表彰する。

(保健医療介護部高齢者地域包括ケア推進課)

【関連するSDGsのゴール】



「団らん処 和菜屋」店内の様子



イートインスペースの様子



知事表彰受賞の様子

子育てしやすい職場環境の整備【(株)不動産のデパートひろた】

【経緯・背景等】

代表取締役の廣田 豊（ひろた ゆたか）さんは、子育て応援宣言企業に登録した思いを、次のようにお話しされました。

「宣言して形にする事で、個人の活躍と会社の発展と、相互に良くしていける会社になりたい。今後も男女ともに計画的に休暇が取れ、育児が出来る環境を整えることが、色々な立場にある社員が長く活躍することにつながっていくと思います。」

【取組内容】

- ・育児休業の取得可能期間は子どもが2歳になるまでであり、それ以降も保育園に入れなかった場合にはさらに調整。休業中は無給だが、取得しても昇給には影響しない。
- ・育児休業取得の対象となる男性従業員には、総務から取得可能な旨を伝えるとともに、店長やグループ責任者の上長にも情報共有することで、取得しやすい環境を整備。また、総務が相談窓口となり、制度を知らない若手従業員や途中で入社した従業員に対しても周知を実施。
- ・RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）に積極的に取り組み、年間1,470時間の業務時間の短縮ができたおかげで、男性が育児休業を取得しても他の従業員の負荷とならず、育児休業が取得しやすい職場環境が実現。
- ・「リフレッシュ休暇（4日連休）」や「アニバーサリー休暇（1日）」を制定することで、従業員1人につき年間最低5日間の年次有給休暇の取得につながっている。
- ・育児休業から復帰した従業員には残業を免除。残業せずに済むような業務を担当してもらったり、残業のある店舗ではなく本社に異動してもらったりと配慮している。
- ・児童手当制度の補完と、子育て中の従業員を積極的に応援するという目的で、「家族育児手当」を制定。扶養義務のある配偶者に対して月5千円、扶養義務のある子ども1人に対して月5千円を支給（同一期間子ども2人分を上限とし支給）。

【企業・団体情報】

社名・団体名：株式会社不動産のデパートひろた
住所：北九州市八幡東区山王1-11-1
代表者：代表取締役 廣田 豊

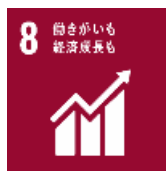
【関係する県の制度】

子育て応援宣言企業登録制度

企業のトップ自らが従業員の仕事と子育ての両立のための具体的な取組を宣言し、それを県が登録する制度

（福祉労働部労働局新雇用開発課）

【関連するSDGsのゴール】



企業の外観



社員の皆さん



福岡県子育て応援宣言登録マーク

子育てしやすい職場環境の整備【(株)スズキ自販福岡】

【経緯・背景等】

スズキのコンパクトカー及び軽自動車は子育て世代の2台目の車として大変ご好評いただいております、お客様だけでなく、自社職員の子育ても応援する、この両輪がこれからの企業には必要だと考え、様々な取組を行っている。

【取組内容】

- ・女性従業員が育児休業から復帰する際には、自宅や保育所など状況を把握したうえで、総務から職場責任者や上司に配慮を促し、残業の発生しない業務へ配属するなどの対応をとっている。そのため、ここ数年、出産や育児を理由として退職した女性従業員はいない。
- ・短時間勤務は子どもが小学3年生まで利用可能。多様な勤務形態があり、希望の勤務時間や通勤距離を勘案して決定している。
- ・子の看護休暇は子どもが小学校就学後も取得可能で、各家庭の事情に合わせ柔軟に対応している（給与の支給はなし）。また、配偶者出産休暇を特別有給休暇として2日付与している。
- ・無給となる産前産後休暇中は、会社の給与補償がある（給与の8割～9割ほどを支給）。また、出産祝金を5千円、中学3年生までの子どもがいる従業員には「子育て支援手当」として、第1子・第2子目に各3千円、第3子目以降には各1万円を毎月支給している。
- ・子育て中の従業員に限らず、家族サービスの時間が確保できるように、働き方改革の一環として増員を図り、周囲がカバーできるような体制づくりに取り組んでいる。
- ・2020年度健康経営優良法人2020（大規模法人部門）にて健康経営優良法人2020に認定していただき、従業員の健康増進、健康管理に対してもすべての従業員が健康に働きつられる会社として日々精進している。

【企業・団体情報】

社名・団体名：株式会社スズキ自販福岡
住所：糟屋郡粕屋町仲原鶴町2567-10
代表者：代表取締役 帆足 達也

【関係する県の制度】

子育て応援宣言企業・事業所知事表彰

企業のトップ自らが従業員の仕事と子育ての両立のための具体的な取組を宣言し、それを県が登録する「子育て応援宣言企業」のうち、仕事と子育ての両立支援への取組が特に優秀な企業に対する表彰

（福祉労働部労働局新雇用開発課）

【関連するSDGsのゴール】



スズキ自販福岡



社員の皆さんと展示車



経営優良法人
2020認定書

障がいのある人によるサービスの利用【(有)プラネット印刷】

長期間、定期的な業務の発注で、障がいのある人の収入向上に貢献

軽作業の発注

【認定第35号】
有限会社プラネット印刷(北九州市)



認定企業の声



代表取締役
林さん

発注先施設との取引歴は長く、主に手作業の業務(印刷製品の袋詰め、チラシの挟み込み、テープ貼り等)を依頼しています。手間のかかる細かな作業にもかかわらず、早く・丁寧にやっていただいております。大変助かっています。作業内容は購入先施設の担当者に説明していますが、しっかりと作業に反映されており、安心して業務を依頼することができています。今後も引き続き作業を依頼すると思っております。よろしくお願いいたします。

発注先施設

特定非営利活動法人 夢つむぎ
夢つむぎ就労支援センター(北九州市)

プラネット印刷さんには、長きにわたり定期的な業務発注をいただき、大変感謝しています。

単純作業ではあるものの、手作業で品質を低下させないため、丁寧に作業を行うことを心掛けています。

単純な作業を効率的に、高品質で提供するため、専用の作業治具を自分たちで作成し、品質の維持・向上に取り組んでいます。



代表理事
高田さん



カードケースにテープを貼る作業。



卓上カレンダーをケースに入れ、袋詰め。



同じ位置に丁寧にテープ貼りができるよう、専用治具を作成。



センターの事業として、リサイクル電池の置き作業や外観検査もっています。

【企業・団体情報】

社名・団体名 : 有限会社プラネット印刷
住所 : 北九州市小倉北区西港町6-1-14
代表者 : 代表取締役 林 厚次

【関係する県の制度】

障がい者応援まごころ企業

障がいのある人が心を込めてつくる「まごころ製品(注)」。
その売上げは障がいのある人の収入向上となり、経済的自立へとつながります。

多くの企業の皆さまに「まごころ製品」を購入いただき、社会全体で障がいのある人を応援していただくため、障がい者就労施設等から年間10万円以上の「まごころ製品」を購入または調達していただいた企業等を、「障がい者応援まごころ企業」として認定します。

(注)福岡県では障がい者就労施設等で働く皆さんが心を込めてつくる物品やサービス(役務)を総称して「まごころ製品」と名付けています。パン・お菓子・縫製品・木工品などの物品だけでなく、清掃・印刷・軽作業・クリーニング・除草作業などの役務も「まごころ製品」です。

(福祉労働部労働局新雇用開発課)

【関連するSDGsのゴール】



自動車燃料使用量削減の取組み【モリタ企画産業(株)】

【経緯・背景等】

- ・ 従来から、車両日報で自動車燃料を管理していたが、燃料代高騰のため、さらなる経費削減が必要となった。
- ・ 自動車燃料の削減には、社員一人一人の意識向上が必要なため、福岡県が募集する「エコ事業所」に登録して「自動車燃料使用量の削減」を宣言し、社員全員で宣言内容を徹底することになった。

【取組内容】

- ・ 自動車燃料使用量の削減に向けた取組みとして次のとおり実施。
 - ① アイドリングストップの励行
 - ② 効率の良い運行ルートの確認と実行
 - ③ 車両の点検、整備の徹底
 - ④ ガソリン車2台をGPS機能を備えているハイブリッドに変更
- ・ これらの取組みにより、自動車燃料使用量を対前年度比30.0%減少することができ、この取組みが評価され「令和元年度 エコ事業所 自動車燃料使用量削減部門」で最優秀賞を受賞した。
- ・ 職員一人一人の意識向上により、二酸化炭素削減だけでなく、経費削減、安全運転の徹底など様々な波及効果が出てきた。

【企業・団体情報】

社名・団体名 : モリタ企画産業株式会社
住 所 : 福岡市城南区別府2-12-3
代 表 者 : 代表取締役 森田 征幸

【関係する県の制度】

エコ事業所登録制度

省エネルギー・省資源などの地球温暖化対策に取り組む旨の「エコ事業所」宣言を募集・登録することにより、事業所の具体的な取組みを促進する。登録事業所に登録証を交付し、県の刊行物などで広く紹介するとともに、取組みが優秀な事業所を表彰する。

(環境部環境保全課)

【関連するSDGsのゴール】



車両の点検



表彰状と登録証

リサイクル製品の製造【(株)プラテクノマテリアル】

【経緯・背景等】

もともと自動車部品等のプラスチックのリサイクルを行っていたが、「ペットボトルのキャップもプラスチックなので、これをリサイクルできないか」という社員の子供の一言がきっかけで、平成21年度からキャップのリサイクル製品を作り始めた。

【取組内容】

団体・企業・官公庁・小学校等が集めたペットボトルキャップをリサイクル材料として使用したプランター、小学生用引出、定規など、様々なリサイクル製品を製造し、地方自治体や小中学校などに広く販売している。

また、製造過程において、カメラによる色選別装置によりキャップを分別して再形成することで、着色料を使わずに色彩豊かなリサイクル製品を製造している。

令和元年度は、プランター約1400個、引出約250個を地方自治体や小学校に販売した。

さらに、集まったペットボトルキャップ1kgあたり10円をNPO等の団体に寄付し、途上国にワクチンなどを寄付する活動を行っている。

【企業・団体情報】

社名・団体名 : 株式会社プラテクノマテリアル
住 所 : 田川郡福智町伊方3593-1
代 表 者 : 代表取締役 田中 妥広

【関係する県の制度】

福岡県県産リサイクル製品認定制度

資源の循環的な利用及び廃棄物の減量の促進を図るとともに、県内のリサイクル産業の育成に寄与し、もって循環型社会の形成に資することを目的に、一定の基準を満たすリサイクル製品の認定を県が行い、その利用促進を図る制度。

(環境部循環型社会推進課)

【関連するSDGsのゴール】



ペットボトルキャップを使用したプランター



ペットボトルキャップを使用した小学生机用引出



福岡県県産リサイクル製品認定マーク

有機栽培による持続可能な農業の推進【(株)鳥越ネットワーク】

【経緯・背景等】

安全な農産物生産への意識から、農薬や化学肥料を極力使用しない農業を志し、有機栽培の取組を開始。

消費者への直接販売や生協との取引を通じて、1995年に「赤村特別栽培米研究会」を立ち上げ、2017年に「株式会社 鳥越ネットワーク」として法人化。従業員10名、年間臨時雇用のべ780人日の企業体制を構築するとともに、持続可能な農業生産・経営の実践に取り組んでいる。

【取組内容】

生産する水稻、施設栽培（トマト、ミニトマト、セロリ）とともに、化学肥料や化学合成農薬を一切使用せず、害虫を食べる虫を活用した防虫技術や、田んぼに紙を敷いて除草を行う技術などを駆使し、有機栽培を確立している。

また、生産性向上・コスト低減を図るため、肥料やその他資材の共同購入、農業機械の共同利用、施設栽培における環境制御装置の導入、企業との連携による生産管理システム開発等に取り組んでいる。

販売面では、出荷資材等の共同購入、農産物の共同輸送を行い、コスト低下、ロットの確保を行っているほか、6次産業化の取組として、有機栽培のトマトを原料とした加工品（ケチャップ等）を開発、販売している。

地域の農地保全にも取り組んでおり、大豆等の有機栽培に、遊休農地を活用している。

さらに、これらの取組の波及を目指し、生協組合員を対象とした虫見会や収穫体験などの農作業イベントを年2回開催しているほか、小学校での出前授業等を実施するなど、有機農業への理解促進を図っている。

【企業・団体情報】

社名・団体名：株式会社鳥越ネットワーク
住所：田川郡赤村大字内田306
代表者：代表 鳥越 和廣

【関係する制度】

JGAP認証、有機JAS認証

JGAP認証：農業生産工程管理を第三者機関が認証
有機JAS認証：化学農薬、肥料を使用しない規格に沿った農産物を第三者機関が認証

※県では、認証取得に向けた技術的支援を実施（農林水産部食の安全・地産地消課）

【関連するSDGsのゴール】



有機栽培のミニトマト



紙マルチ田植機(除草)

6次産業化商品ごぼうかりんとう「伊都ごぼりん」の開発、販売 【糸島農業協同組合】

【経緯・背景等】

糸島農業協同組合では、生命産業である農業の振興を図り、豊かな地域社会の実現に貢献するという基本理念の基、安全・安心な農畜産物の生産はもとより、環境にやさしい農業を目指し、さまざまな取り組みを行っている。

その一環として、農業者の所得向上や雇用の増大につながる6次産業化に取り組んでいる。

【取組内容】

糸島市の地域、風土を活かし、組合員自ら生産した「ごぼう」のうち、その生産過程で発生した規格外品と、「小麦」（ラー麦：福岡県育成品種）を活用した風味豊かなごぼうかりんとう「伊都ごぼりん」を開発、販売している。「伊都ごぼりん」は、外部へ製造を委託し、糸島農業協同組合の直営販売所である「伊都菜彩」（年間利用者数135万人）での直売、及びインターネット販売を行っている。

この取組により、糸島産農畜産物の知名度、認知度を更に高めるとともに、加工品製造・販売の強化による経営基盤の一層の充実を図っている。

また、数多くの6次産業化の取組みに加え、直売所「伊都菜彩」の運営により地産地消の推進、食育活動、雇用の創出など地域の活性化にも寄与している。



伊都ごぼりん



伊都菜彩

【企業・団体情報】

社名・団体名 : 糸島農業協同組合
住 所 : 糸島市前原東2-7-1
代 表 者 : 代表理事組合長 山崎 重俊

【関係する県の制度】

福岡県6次化商品コンクール

県内各地で6次産業化の取組みによる新たな加工商品等の開発が進められている中、これらの6次化商品の魅力を高め、販売拡大を促進するため、「福岡県6次化商品コンクール」を実施し、消費者から高く評価されている商品や、新規性や話題性に優れた商品を表彰するもの。

(農林水産部 園芸振興課)

【関連するSDGsのゴール】



※6次産業化とは

農林漁業者（第一次産業）が自ら生産した農林水産物を活用し、加工・製造（第二次産業）や流通・販売（第三次産業）に取り組むこと。

安心、安全な食品の提供【(株)野上養鶏場】

【経緯・背景等】

約7万羽の採卵鶏を飼養する自社農場を有し、卵の洗卵・選別・包装、輸送、店舗や通販での販売まで行う一貫経営企業である。

安心、安全な卵を提供することを目的として、平成27年からHACCP制度（右記参照）の導入を開始し、令和2年1月に農場HACCP認証農場として認証された。

【取組内容】

農場生産物による健康被害の防止を実現するため、農場の厳重な衛生管理及び鶏の健康管理に努めている。

更に、HACCPに基づく生産工程管理によって、生産効率の向上と鶏の損耗防止による安定的な卵の生産を実現するとともに、自社ブランド「味宝卵」を創設し、地域の安定的かつ高品質な鶏卵供給元となっている。

また、生産のみならず包装、販売、製品化（6次産業化）及び物流も一貫して行い、現在は、包装施設の衛生管理向上及び液卵工場の増設に取組んでいる。

責任ある地域の一員として、積極的に地域の人材を採用しており、地域の雇用創出、活性化にも貢献している。

【企業・団体情報】

社名・団体名：株式会社野上養鶏場
住所：鞍手郡鞍手町大字中山1034-2
代表者：代表取締役 野上 勉

【関係する制度】

農場HACCP認証制度

農場の飼養衛生管理にHACCPの考え方を取り入れて、生産される畜産物の安全性の確保及び生産性の向上を図る制度。危害要因の分析・評価（HA）を行い、個々の農場の状況に応じた一般的衛生管理プログラムや重点管理点（CCP）を決定し、適切な飼養衛生管理に取り組むことにより、最終的な製品の人への健康被害等の危害発生を防止する。

※県ではHACCPに沿った衛生管理が行われているか確認・指導を実施

（農林水産部畜産課）



販売所



味宝卵の
パッケージ



卵とプリン

【関連するSDGsのゴール】



ニセ電話詐欺防止の活動【橋爪印刷】

【経緯・背景等】

平成16年4月、八女警察署長及び八女地区防犯協会長から「防犯指導員」として委嘱され、以来、地元の子供達に分かりやすく防犯を学んでもらうために、防犯寸劇を始めとした様々な活動を行ってきた。

近年は、ニセ電話詐欺の急激な増加に伴い、防犯指導員としてだけでなく、自身が経営する印刷会社として何かできることはないかと考え、「ニセ電話気づかせ隊」に加入し、ニセ電話詐欺防止に向けた活動を継続的に実施している。

【取組内容】

平成27年に発足された「ニセ電話気づかせ隊」は、ニセ電話詐欺の被害防止活動を県民運動として展開しており、同活動を行う団体、事業者、地域住民等で構成されている。

橋爪印刷は、発足時から「ニセ電話気づかせ隊」に加入し、年金支給日におけるニセ電話詐欺被害防止キャンペーンを始め、店舗には、ニセ電話詐欺防止に関するポスターやチラシを掲示し、顧客である高齢者やその家族に対して注意喚起を実施しているほか、県警発行の「ニセ電話気づかせ隊通信」を店舗で増刷して、多数の地域住民等に配布するなど、ニセ電話詐欺の被害防止活動に取り組んでいる。

上記取組の功勞により、令和元年7月に「ニセ電話気づかせ隊推進委員会」において、県知事から表彰された。

【企業・団体情報】

社名・団体名 : 橋爪印刷
住 所 : 八女市吉田1899番地1
代 表 者 : 橋爪 哲也

【関係する県の制度】

ニセ電話気づかせ隊推進委員会表彰

ニセ電話気づかせ隊に加入している参加団体の被害抑止活動について、年1回、その活動実績等が優秀だった団体を表彰するもの。

(警察本部 生活安全総務課)

【関連するSDGsのゴール】



ポスター掲示状況



年金支給日におけるキャンペーン



ニセ電話詐欺被害防止機器マスコットキャラクター
「まっ太くん」